

令和2年4月6日

## 国立天文台と意見を表明した天文学コミュニティーメンバーの意見交換会ご報告

コロナウイルス問題で大変なときですが、皆様お元気でしょうか？

最近、TENNETを中心に国立天文台の状況に関して活発な意見交換がなされています。意見交換自体は重要なことと思いますが、これ以上はメールでのやりとりは難しいのではと考えました。そこで、佐藤勝彦先生と私（観山正見）の発案で、国立天文台執行部と天文学コミュニティー（意見を表明されているグループの代表者またはメンバー）で、4月3日16時より1時間程度ビデオ会議を実施しました。

その結果、今後とも国立天文台と天文学コミュニティー等との意思疎通を活発にして、天文学の発展のために、以下の委員会を作ること、その委員の構成、及び、その役割について参加者が了解しましたので、ご報告します。

### 委員会の名称（仮称）

日本の天文学の発展のために

天文学コミュニティー等と国立天文台執行部との意思疎通を推進するための委員会

### 役割と目的

- ・天文学の発展のために天文学コミュニティー等と国立天文台執行部との橋渡しをして意思疎通を円滑にする（第三者委員会的な性質を持つ）。
- ・第三者として各問題点の整理を行う。
- ・このため、一連の問題に関して、関係者に事情を聴取等行う。
- ・その結果今後の国立天文台とコミュニティーのあり方に関する方向性（報告書）を示す。
- ・委員会の出す方向性を天文学コミュニティー等及び国立天文台執行部は尊重する。
- ・本委員会は国立天文台が公式に認めるものの、議事運営は設立された委員会自体が責任を持ち、国立天文台は、委員会の開催等の事務的なサポートに限るものとする。。

### メンバー選定

佐藤勝彦、観山正見が委員を務め、他のメンバーは以下の形で推薦を受けた上で、両者の相談で適切な方を追加する（3-4人の追加メンバーを考えている）。

### 推薦の受け方

上記の委員会の役割と目的に鑑みて、今回の当事者（国立天文台執行部や問題提起したコミュニティーメンバー）ではなく、自分の立場やコミュニティーの立場を離れて、将来の天文学の発展のために尽力頂ける方を推薦して頂く。現役OB/OGを問わない。

具体的には光天連、宇電懇、VLBI懇、太陽連絡会、理論懇の代表には推薦を依頼する。また、それらの団体以外でも適切な方がいる場合は個人からの推薦も受ける。ただ、推薦を受けられた方々から最終的には佐藤勝彦、観山正見が選任することは了解していただく。

#### 個人的な推薦方法

個人的に委員会のメンバーを推薦したい方がある場合は、現役 OBOG を問わず  
4月20日正午（12時）までに以下のアドレスに、  
委員候補者の名前・所属・メールアドレス及び理由をお送りください。

[miyama@hiroshima-u.ac.jp](mailto:miyama@hiroshima-u.ac.jp)

以上

文責 観山正見

#### 意見交換会参加者

国立天文台 常田佐久台長、渡部潤一副台長、井口聖副台長

戸谷友則（東京大学）、古屋玲（徳島大学）、藤沢健太（山口大学）、細川隆史（京都大学）

佐藤勝彦（学術振興会）、観山正見（広島大学）